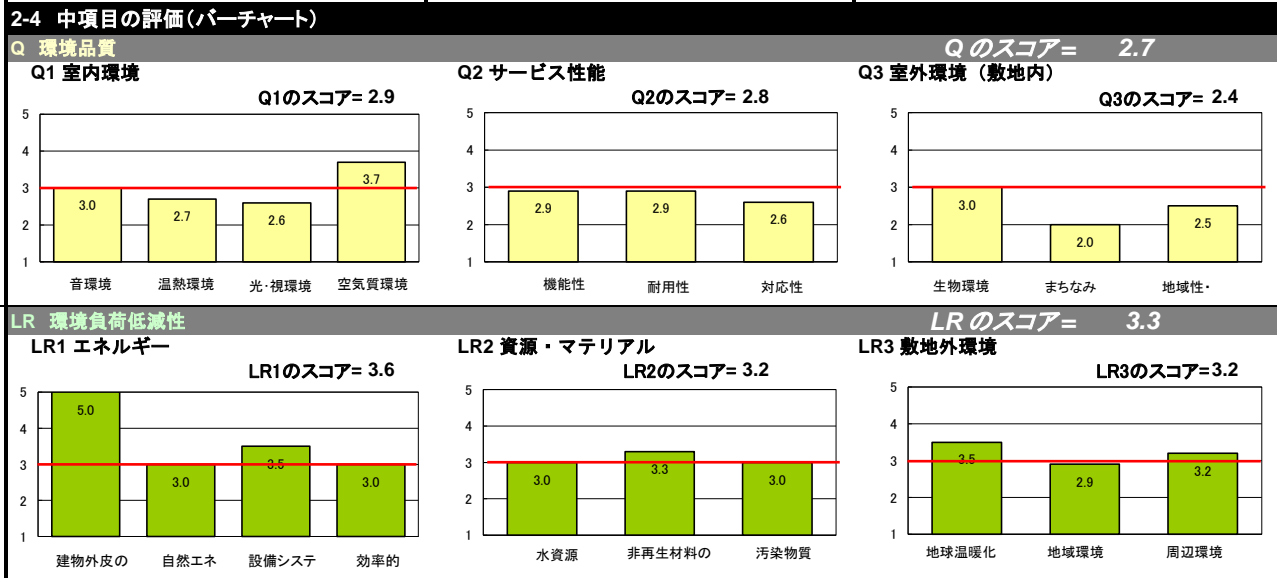
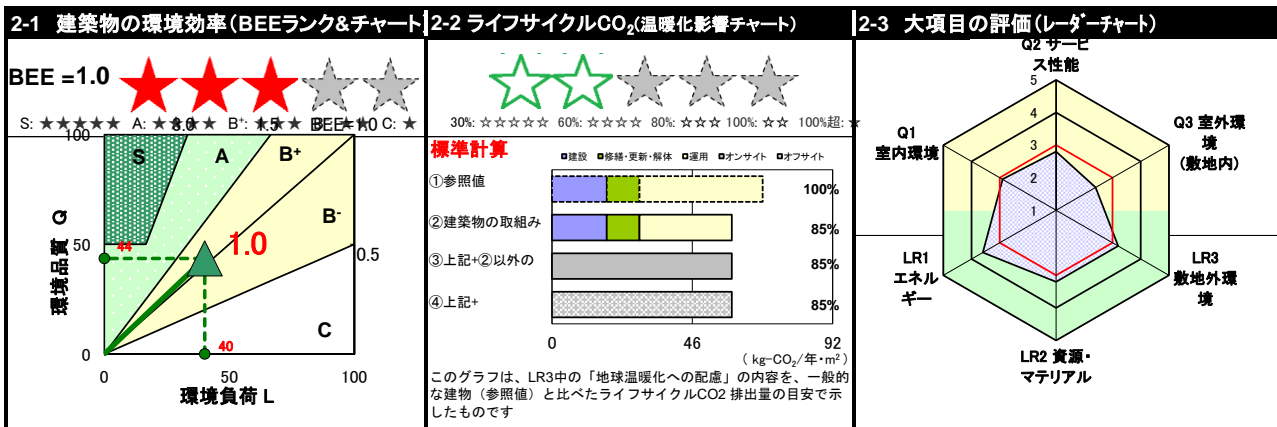


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)平塚市新町計画 新築工事	階数	地上2F
建設地	神奈川県平塚市新町434番1	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	86 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年5月 予定	評価の実施日	2021年7月9日
敷地面積	6,212 m ²	作成者	大和ハウス工業(株)厚木支社建築一級建築士事務所
建築面積	1,987 m ²	確認日	2021年7月9日
延床面積	2,359 m ²	確認者	大和ハウス工業(株)厚木支社建築一級建築士事務所

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項

総合	その他	
平塚駅からバスで10分の工業地域に事務所と倉庫の複合用途として、S造・2階の建物を計画した。	特になし	
Q1 室内環境 建築材料はJIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用	Q2 サービス性能 事務所天井高2.7m以上	Q3 室外環境 (敷地内) 0
LR1 エネルギー 特になし	LR2 資源・マテリアル 躯体+軽鉄+仕上材のディテール及びOAフロアを採用	LR3 敷地外環境 光害対策が「ドライ」のフェックシートの過半を満たしている。広告物照明は行っていない

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される